



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

イラン経済 (9月29日～10月2日)

1. Vitol 社によるイラン産原油取引 (29日付ケイハーン・インターナショナル紙)

世界有数の石油取引企業である Vitol 社は、米国および EU (欧州連合) による一方的制裁を無視し、本年 [イラン暦 1391 年 (2012 年 3 月 20 日～2013 年 3 月 20 日)] に少なくとも 1 隻のイラン産原油を取引した。スイスを拠点とする Vitol 社は、先月イラン産原油を 200 万バレル引き取り、中国企業に提供している。

2. インフレ率 (29日付イラン・ニュース紙)

ラーリージャーニー国会議長は、最近のインフレ率が 29%であると発言。

3. レザーイー公益判別会議書記の発言 (29日付イラン・ニュース紙)

公益判別会議 (ラフサンジャーニー議長) のモフセン・レザーイー書記は、西側による対イラン制裁は、イランの歴史の中でかつてないものであるとし、「人々が自動的に統治システムに異議を唱えようとする状況に至るまで、敵はイランの収入を減少させようとしている」と述べた。

4. イラン国会エネルギー委員会委員長の発言 (29日付イラン・ニュース紙)

イラン国会エネルギー委員会のミールカーゼミー委員長は、対イラン制裁を課す国に対して、冬の間、原油輸出を停止する法案を議論する計画があると述べた (注: 具体的な国名には言及されていない)。

5. 国営石油化学会社総裁の発言 (29日付テヘラン・タイムズ紙)

NPC (National Petrochemical Company, 国営石油化学会社) のバヤート総裁は、イランは本年 [イラン暦 1391 年 (2012 年 3 月 20 日～2013 年 3 月 20 日)] の上半期 (3 月 20 日～9 月 20 日) に 60 億ドルの石油化学製品を輸出したと述べた。昨年 [イラン暦 1390 年 (2011 年 3 月 21 日～2012 年 3 月 19 日)] は、162 億ドルの石油化学製品を 60 カ国に輸出している。

6. 中国に発注したタンカーの到着 (30日付ケイハーン・インターナショナル紙)

NITC (National Iranian Tanker Company, イラン国営タンカー会社) が中国の造船所に発注した 12 隻のタンカーの 1 隻目がイランに到着した。NITC は 39 隻のタンカーを所有し、

うち、25隻がVLCC (Very Large Crude Oil Carrier) である。

7. トルコとの貿易額 (30日付イラン・ニュース紙)

イランとトルコの本年 [イラン暦 1391年 (2012年3月20日~2013年3月20日)] 8カ月の貿易額は175億ドルに達し、昨年 [イラン暦 1390年 (2011年3月21日~2012年3月19日)] 比61%増となっている。

8. EUによる対イラン追加制裁の検討 (10月2日付報道)

英国、仏国、独国は、EU (欧州連合) の対イラン制裁を強化するためのパッケージを検討している。英外務省は、「英国、仏国、独国は10月15日に予定されているEU外相会議までに追加制裁案の合意を目指しているが、時間が非常に限られている。仮に10月15日のEU外相会議までに間に合わない場合でも、年内には合意が得られるだろう」と述べた。

英外務省筋によれば、対イラン追加制裁案は、金融、貿易、エネルギー及び運輸の4分野について検討されている。

- (1) 金融；イランの銀行との取引の禁止。
- (2) 貿易；核開発計画に必要となる物品の購入を困難にするためEUの対イラン貿易の禁止。
- (3) エネルギー；石油禁輸措置からの抜け道を不可能にするための措置。
- (4) 運輸；海運分野での制裁からの抜け道を不可能にするための措置。